

【別紙】 令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立芝中学校)

(A4判横)

学校教育目標	賢く、美しく、逞しい生徒の育成
目指す学校像	美しい環境の中で、生徒が安心してのびのびと学び合える、爽やかで活力溢れる学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	5名
事務局 (教職員)	2名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 3 年 2 月 1 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	学校経営方針に基づき教師一人一人に情熱と使命感を持たせ、地域とともに生徒を育成する組織を構築する(コミュニティ・スクール)とともに、和やかな中にも規律ある職場環境にすることが課題である。	○当事者意識の醸成 ○ミドルリーダーの育成 ○地域で子どもを育てる意識の醸成	①「すべては子どもたちの笑顔のために」各分掌における自分の役割を自覚させるとともに当事者意識を持たせると同時に、ミドルリーダーの育成を図る。 ②地域で子どもを育てる意識を教職員に醸成し、定期的なレクリエーションや諸会議の開催など、PTA、地域、教職員間のコミュニケーションを活性化させ、コミュニティ・スクール設置に向けた準備を推進する。	①各分掌部会のリーダーを中心に学校課題の克服に向けた取り組みを実施し、当事者意識の醸成を図ることができた。 ②感染症の拡大により、教職員間及び地域とのコミュニケーションをはじめ、地域と連携した活動ができなかったが、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効活用する場面を設けること	B ①人事異動により学校運営の核となる人材が不足しようとも、良き指導方法等を継承し、新しいリーダー育成に努める。 ②機能的な学校運営協議会を開催し、地域の宝として子どもたちを育成する環境づくりに努める。
教育課程	PDCA検証サイクルをもとに主体的、対話的で深い学びの視点による授業改善を図る必要がある。確実な教育課程の実施が難しい中、学校行事をはじめとするPTAや地域に関連する行事の精選を図ることが課題である。	○主体的、対話的で深い学びの視点による授業改善 ○学校行事の精選による適切な教育課程の実施	①授業において見通しと振り返りの時間を確保し、各教科の「見方/考え方」をもとに生徒自身と考えさせ、協働させる場面を設定することで深い学びにつなげる。 ②教科部会において、生徒の状況を共通理解し、授業実践の成果と課題を繰り返し検討する。 ③学校行事及びPTA行事の精選を図り、適切な教育課程の実施を行う。	①教務主任を中心に主体的・対話的で深い学びの実現に向け、各教科において意図的に対話の場面を設けるなどの取り組みを行うことができた。 ②教科部会において学力・学習状況調査を分析し、授業に活かすことができた。 ③中止や延期、制約のある中にも代替行事等を実施した	B ①常に新しい情報を取り入れ、研修を通じて主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫・改善を図る。 ②生徒の課題をしっかりと把握し、改善のための手立てを講じていく。 ③新学習指導要領のもと、適切な教育課程の実施を行う。
開かれた学校づくり	本校の教育活動をHPや学校だよりを通じて発信するとともに、教育活動に保護者や地域の力を学校に取り込んでいく必要がある。地域の行事や福祉・ボランティア活動等、生徒の力を地域のために還元していくことが課題である。	・教育活動の積極的な発信 ・地域の力の活用 (学校) ・生徒の力の活用 (地域)	①本校の教育活動をHPや学校だよりを通じて適宜情報発信する。 ②学校行事に地域の力を積極的に取り入れ、教育活動の理解と協力をいただく場面を設定する。 ③地域の行事に生徒を積極的に参加させ、生徒の力を地域への還元する場面を設定する。	①HPをリニューアルし、適宜本校の教育活動、生徒の活躍等を発信することができた。 ②③感染症の拡大により、地域の力をを校内に取り込んだり、生徒の力を地域に還元する場面を設定できなかったが、地域の中の学校として、保護者や地域の願いに応えることの重要性を教職員に周知することができた	B ①さらなるHPの充実とタイムリーな情報発信に努める。 ②学校にはない力を地域から取り込み、教育活動に活かす。 ③地域に貢献できる生徒を育成するための体験的活動を多く設定する。
教職員の資質向上	教育公務員としての自覚を高めるため、また一人一人の専門性を高めるための研修の充実と積極的参加を促す。教員個々の目標を把握するとともに、その達成に向けて計画的に授業観察、面談を通じて指導、助言を図ることが課題である。	○服務規律の確立 ○専門性の向上 ○個に応じたスキルアップ	①倫理確立委員会を月2回実施し、教職員へ服務規律の指導を行い、服務の適正化と教職員事故防止の徹底を図る。 ②校内研修において、互いに授業を見合い、指導法の工夫、改善に努める。 ③自己評価シートと面談を通じて「個別の指導計画」を作成・活用し、授業観察や面談を適宜実施し、評価をフィードバックするとともに、振り返りながら教職員の育成を図る。	①倫理確立委員会や職員会議、校内研修を通じて、教職員の不祥事・事故防止に努めた。 ②道徳の一斉授業等、教員間で授業を見合い、指導力向上に努めた。 ③年度当初に教職員の目標を立てさせ、その目標に合わせ授業観察後にスキルアップシートを基にフィードバックを行い、人材育成	B ①日頃から不祥事・事故防止のための啓発を怠らず、使命感と情熱を持った教職員の育成に努める。 ②教職員が互いに高め合うことができる取組を実践する。 ③すべては子どもたちの笑顔のために、日々研修に励む教職員集団を育成する。
施設・設備等の管理	施設、設備の老朽化が進んでおり、計画的に修繕を施す必要がある。関係部局と連携し、生徒の安全、安心を確保するとともに、地域の防災拠点として機能するよう、さらなる整備を進めることが課題である。	○定期的な点検による事故防止 ○地域の防災拠点としての機能向上	①校内掲示物の充実を図るとともに、月1回の安全点検の確実な実施と管理職による1日2回以上の校内巡回で施設設備の不具合箇所を早期発見、早期対応で事故を防止する。 ②地域防災会議を開催し、必要事項の確認等、共通理解を図るとともに、防災拠点として必要な設備等について協議し、関係部局に提案を行う。	①各学年や相談室、保健室等において、学習環境に潤いのある掲示物を作成した。また、教頭を中心に危険箇所の早期発見と修繕を行い、安全で安心できる環境づくりに努めた。 ②地域の防災拠点として、市内に範を示したいところだったが、感染症の拡大により、地域との防災サミットの開催に至らなかった	B ①潤いのある学習環境づくりのために、さらに掲示カアップを目指す。 ②事業員会に防災委員会を新規に立ち上げ、生徒自身が防災意識を高めるとともに、地域と協力して学校が防災拠点となるよう防災サミットを開催する。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 3 年 2 月 1 7 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・コロナ禍で大変な時期にもかかわらず、若手教員が頑張っている様子が伺える。 ・若手教員が多いことから、教員間のコミュニケーション力を更にアップさせてほしい。 ・新しい時代のミドルリーダー等の育成にさらなる工夫した取り組みに期待する。	
・新しい情報を取り入れながら、子どもたちの学力向上に対し努力されていることがよくわかります。 ・行事を精選しながらも、行事を通じて成長できる部分もあるため、体験活動は多く取り入れてほしい。 ・令和の日本型教育に期待する。	
・楽しみながらHPを更に充実してくれることを願います。 ・毎日拝見しており、その充実した内容から小学生を持つ保護者にも見るよう勧めています。 ・開かれた学校づくりは厳しい状況であったが、HP等を活用し、教育活動や学校としての情報提供に努めたことは素晴らしい。	
・先生方の情熱を支えるのは私たちだと思います。生徒の皆さんだけではなく先生方も見守り、応援していきます。 ・コミュニティ・スクールであることから、外部の目が多く入り、それが先生方への良い刺激にもなると思います。 ・このような状況下で、教職員の不祥事、事故防止に努め、教師として当たり前のことをやり遂げたことは素晴らしい。	
・努力されていると思います。時間はかかりますが一つずつ丁寧な対応を願います。 ・生徒に寄り添い、保護者と協力し合い、一人でも多くの生徒が学校が楽しい場所に思えるような支援をお願いしたい。 ・地域防災の意識をまずは学校が中心となって取り組み、生徒と関係町会と連携を図り、20年先を見据えた取組は素晴らしい。	